

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	英語（再履）		
英文授業科目名			
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1 - 714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	http://www.office-m2.co.jp/denki/

【主題および達成目標】
<p>学習や基礎学力が足りなかったため、必修英語科目の単位が取得できなかった学生のために設けられたクラス。基礎的な英語の力が不足している学生を想定しているため、学習内容としては基礎的知識を広範に学び、かつ各自の学習方法をあらためて身につける指導をする。扱う内容はほとんど基礎力養成のためなので、成績評価もそれに対応する。</p> <p>なお、平成20年度からは再履修用のクラスは設置しない予定。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
とくになし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
とくになし。

【教科書等】
<p>予定：英検2級へのステップ（宮内猛著、成美堂） 英検問題に準拠した問題集（英文内容把握、語法、英作文など）。</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

このコースは大学での英語力を身につけるために必要となる基礎的な知識に出来るだけ多く触れて、かつ自分なりの学習方法を確立することである。英語に対して苦手意識があっても、英語の語順に注意を向けることで英文に近づきやすくする説明を行なうつもりである。

主な目標は、様々な問題を解く作業を通して英語を読む力・書く力の基礎を固めることである。テキストは23課構成で、一つの課は5頁に5種類の問題を用意している。進度は受講生のレベルを見てから確定するが、授業1回で最低1課は扱う予定。

5限目の授業なので、毎回出席できるようにスケジュールを整えておくことが極めて重要です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- (1) 期末試験(受験には授業回数の3分の2の出席が必要条件)
- (2) 出席状況(妥当な理由のない欠席・遅刻は減点評価をすることがある)
- (3) 授業中の態度や、発表の仕方
- (4) 臨時に小テストする場合がある。

評価基準

大学作成の基準を参考にする。

100～90点は秀、89～80点は優、79～70点は良、69～60点は可、60点未満は不可。

平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として計算に入れられるので注意すること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話やメールなどで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

1. 英語に触れるひとときを、生活の中に組み込むことが肝要です。
2. 実用的な音声面の英語学習には、NHKラジオ・テレビの語学番組がお勧め。

【その他】